

平成27年度高知県学力定着状況調査の公表に係る県教育長コメント

平成28年2月25日

4回目の実施となりました「高知県学力定着状況調査」の結果を公表いたします。

本調査は、学力調査等の結果から明らかとなった基礎的・基本的な知識・技能の定着やそれらを活用して課題を解決する力の育成状況を改善するため、児童生徒の学力の定着状況を把握・分析し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすことを目的に実施するものです。また、次期の学習指導要領改訂の視点として示されている、新しい時代に必要となる資質・能力の「問題を発見し、解決していくために必要な思考力・判断力・表現力等」を問う内容を出題し、より質の高い授業を追求していくことへのメッセージを含めております。

今回の調査結果を見ますと、ことわざや敬語の使い方を理解することや、関数の表・グラフを読み取ることなど、基礎的・基本的な知識や技能の面に関しては、改善傾向にあります。

しかし、事実を基にして、何が言えるのか、考えられるのかを解釈することや、根拠を明確にして自分の考えを書くことなどには依然として課題が残り、引き続き改善が必要です。

各学校や市町村教育委員会におかれましては、本調査を活用し、児童生徒の学習内容の定着状況を把握・分析するとともに、学校全体で組織的・協働的に指導方法の改善に取り組むことにより、児童生徒の学力を着実に伸ばしていただきたいと考えております。

県教育委員会としましても、先にお話しした課題を解決するため、授業改善プランに基づく指導や校内研修を活性化させることにより、分かる授業づくりを推進してきました。また、単元テストや学習シートの活用を進め、学習習慣の定着にも取り組んできました。今後は、学校において、組織的に授業力の向上や授業改善に取り組む「チーム学校」の仕組みを構築するよう、支援を行ってまいります。さらに、厳しい家庭環境にある子どもたちや学力が十分に身に付いていない子どもたちに、基礎学力をしっかりと定着させ、学習意欲の向上を図るため、地域の方々のご協力もいただき、地域と学校とが力を合わせて子どもたちを支え育んでいく取り組みも充実させてまいります。

そうして、市町村教育委員会との連携・協働のもと、保護者や県民の皆様のご理解やご協力を得ながら、子どもたちが「夢」や「志」をもって、未来を切り拓いていくために必要な学力の向上の取り組みをさらに充実させてまいります。

高知県教育長 田村 壮児